

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
28年 6月 22日	
浜松市長 鈴木康友 殿	
提出者	
住所	浜松市南区中田島町250
氏名	有限会社ヤマ岳
取締役	鈴木幹人
電話番号	053-444-1177
<p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	有限会社 ヤマ岳
事業場の所在地	浜松市南区中田島町250
計画期間	平成28年4月1日 ~ 平成29年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	06 総合工事業
② 事業の規模	34,000万円
③ 従業員数	16人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>・解体工事 がれき類(コンクリート塊)→再生処理業者に委託して、再生砕石として再資源化 がれき類(アスファルト・コンクリート塊)→再生処理業者に委託して、再生骨材として再資源化 木くず→再生処理業者に委託して、チップ(合材用、燃料用)として再資源化</p>

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

専務取締役 (廃棄物担当役員)

専務取締役 西原 正

統括部長・営業部長

作業長

作業員

- ・ 廃棄物処理方針の策定
- ・ 廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認
- ・ 廃棄物処理計画の作成
- ・ 処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理
- ・ 委託契約の締結
- ・ 産業廃棄物管理票の交付・管理
- ・ 監督官庁への各種報告
- ・ 社員、関連会社に対する教育、啓発
- ・ その他関係する事項

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (平成27年度) 実績】 別紙添付		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) 解体工事現場での工法改善と、徹底した分別解体を実施する。		
②計画	【目標】 別紙添付		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 徹底した分別解体の継続と、技術向上を計る。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) コンガラ、アスガラ、木くず、金属くず、廃石膏ボード、廃プラスチック類、紙くず、繊維くず等の分別をしている。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 混合廃棄物の更なる分別を実施する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（平成27年度）実績】 別紙添付		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 実施なし		
②計画	【目標】 別紙添付		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 実施予定なし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（平成27年度）実績】 別紙添付		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 実施なし(中間処理は行っていない)		
②計画	【目標】 別紙添付		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 実施予定なし(中間処理は行っていない)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（平成27年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0	t
	(これまでに実施した取組) 自ら埋立処分又は海洋投入処分は行っていない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0	t
	(今後実施する予定の取組) 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う予定はない。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（平成27年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	別紙の通り	t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙の通り	t
	再生利用業者への処理委託量	別紙の通り	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	t
	(これまでに実施した取組) <ul style="list-style-type: none"> ・ 廃石綿含有産業廃棄物は、全て最終処分場に全処理委託している。 ・ 木くずはチップ再生業者へ処理委託している。 ・ 優良認定処理業者を優先して委託先としている。 		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	別紙の通り t	別紙の通り t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙の通り t	別紙の通り t
	再生利用業者への処理委託量	別紙の通り t	別紙の通り t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・現状の取組を継続させる。 ・委託先の選定については、処理施設の訪問を実施し、設備・能力等の確認をする。また中間処理業者であれば、最終処分場までのルート確認を実施し、より確実なものとする。		
※事務処理欄			

別紙1(産業廃棄物処理法-産業廃棄物計画書)

現状:前年度(平成 27年度)実績量

計画:今年度(平成 28年度)計画量

産業廃棄物の種類	廃棄物抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項									
	排出量(前年度実績値)		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		全処理委託量		優良認定処理業者への処理委託量		再生利用者への処理委託量		認定熱回収業者への処理委託量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
コンクリートがら	1668.53	2000	0	0	0	0	0	0	0	0	1668.53	2000	0	0	1668.53	2000	0	0	0	0
アスコンがら	103	150	0	0	0	0	0	0	0	0	103	150	0	0	103	150	0	0	0	0
その他がれき類	518.42	500	0	0	0	0	0	0	0	0	518.42	500	0	0	518.42	500	0	0	0	0
ガラス・陶磁器くず	52.3	70	0	0	0	0	0	0	0	0	52.3	70	0	0	52.3	70	0	0	0	0
木くず	762.7	800	0	0	0	0	0	0	0	0	762.7	800	0	0	762.7	800	0	0	0	0
繊維くず	7.6	10	0	0	0	0	0	0	0	0	7.6	10	0	0	7.6	10	0	0	0	0
石綿含有	83.97	100	0	0	0	0	0	0	0	0	83.97	100	0	0	83.97	100	0	0	0	0
廃石膏ボード	194.13	200	0	0	0	0	0	0	0	0	194.13	200	0	0	194.13	200	0	0	0	0
混合	142.06	200	0	0	0	0	0	0	0	0	142.06	200	0	0	142.06	200	0	0	0	0
廃プラスチック	50.4	50	0	0	0	0	0	0	0	0	50.4	50	0	0	50.4	50	0	0	0	0
合計	3583.11	4080	0	0	0	0	0	0	0	0	3583.11	4080	0	0	3583.11	4080	0	0	0	0